

令和5年度 事業評価シート

所属名	教育委員会生涯学習部 市民文化ホール
-----	--------------------

1. 基本情報

事業名称	市民文化創造館自主事業費（芸術アドバイザー）	
実施根拠 (条例・規則・要綱等)	船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー設置要綱	
事業開始年月日	平成15年度	
最終改正年月日	平成22年4月1日	
事業目的 (実現・達成したいこと)	市民文化ホール並びに市民文化創造館の運営に関して専門的な助言を行い、市民が優れた文化芸術を享受する機会及び独創性ある新たな文化芸術の創造を支援する。	
事業概要 (誰に、何を、どうするのか)	芸術アドバイザーは以下の点について、助言を行う。 (1) 両館が行う自主事業に関すること。 (2) 両館が行う文化芸術活動の支援（情報提供を含む。）に関すること。 (3) 両館の運営（情報提供を含む。）に関すること。 (4) その他両館から助言を求められた事項。	
実施背景 (事業を実施することになった背景・要因)	平成15年度、船橋市民文化創造館の開館年に、同館の事業に関する専門的な助言を得るために、文化・芸術の各分野から8名による「芸術アドバイザー制」を導入。	
これまでの経緯 (対象者・要件・限度額、サービス内容などの制度の変遷)	アドバイザーの依頼人数は、平成15年度は8名、平成26年度までは9名、平成27年度以降は7名。 平成24年度から開始した市民文化ホールと市民文化創造館の一体運営に伴い、文化創造館のアドバイザーは船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザーと名称変更し、両館の効果的な事業運営を目指すこととなった。	
事業内容	対象者	内容（要件・単価・限度額・サービス内容など）
	芸術アドバイザー	各分野の専門家の助言に対して、年度毎に1人10万円報償費を支出

2. 事業実績

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費 (単位：千円)	当初予算額	700	700	700	700
	うち一般財源	700	700	700	700
	決算(見込)額	700	700	700	700
対象者数・ 交付件数など	芸術アドバイザー	7名	7名	7名	7名

3. 交付税、国・県補助の有無

	有無	(ありの場合) 名称・内容
交付税措置	なし	
国・県補助	なし	
(国・県補助への) 上乗せ・横出し	なし	

4. 業務量

繁忙期	4月				
業務頻度 (年1回・月1回など)	年1回				
人工		常勤職員	会計年度任用職員	再任用(フル)	再任用(短)
	人工	0.1人工			
	従事者数	1人			

※ 職員1人の労働力 = 1人工。当該事業の人工を記載。複数人が携わっている場合は、それぞれの人工を合計。

【記載方法】従事者2人、労働力の割合がそれぞれ3割の場合 ⇒ 合計0.6人工(0.3人工+0.3人工)

評価結果

所管課	教育委員会生涯学習部 市民文化ホール
事業名称	市民文化創造館自主事業費（芸術アドバイザー）

（１）一次評価（自主点検）で明らかとなった課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目	課題	今後の方向性
1 事業の必要性	市民文化ホールは大規模改修工事に伴う休館を予定している。新たな事業展開に向けた制度の検討が必要となっている。	大規模改修工事に伴う休館の間に、市民文化ホールのあり方と共に、制度の見直しの検討を行う。
2 他市比較	近隣市では、同様の制度がないため、謝礼額等が適切か判断が難しい。	

（２）追加で整理した課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目	課題	今後の方向性
1 事業の必要性	平成30年度、令和4年度の船橋市包括外部監査で芸術アドバイザーの活用について見直すように意見がだされている。	包括外部監査で意見されている事項を踏まえ、見直しを行う。
2 他市比較	—	—